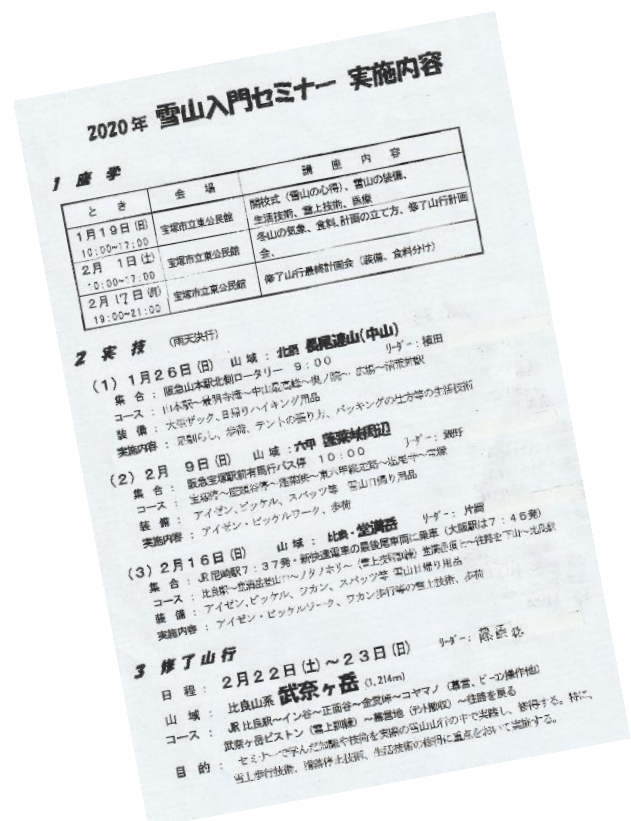


2020 雪山入門セミナー

座学: 1/19(日)、2/1(土) 実技: 1/26(日)中山縦走路 2/9(日)六甲・蓬莱峡他 2/16(日)比良・堂満岳



座学の様子

受講生: 一般4人、会員5人

<会場> 宝塚市立東公民館

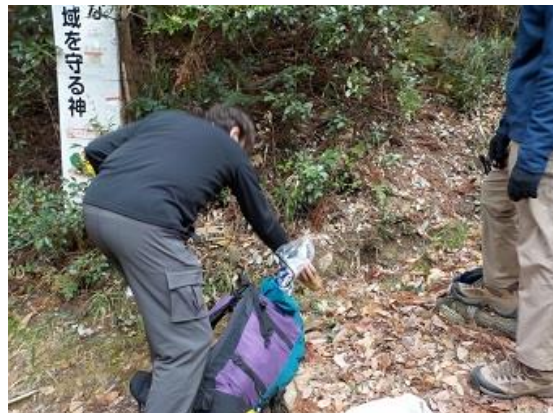


1/26(日) 実技 I

受講生: 一般3人、会員4人、スタッフ他9人 合計16人

長尾山系・中山縦走路で歩荷とテント設営など生活技術の実技・トレーニングを行った。

雨を心配したが、何とか免れて薄曇りの天気の中、総勢16人で中山縦走路で歩荷(男20kg、女17kg)を行った。奥ノ院を経てやすらぎ広場近くの林道でテントの張り方の実技を行った。(ダンロップは外張、エスパースは内張の設営)



1. 最明寺滝手前の石の門を通過して進む

2. 井植山荘分岐のところで石をザックに詰める

3. 稜線手前の展望の良いところで休憩



4. 縦走路の小刻みのアップダウンは結構きつい



5. このフェンスが出てくると最高峰は近い



6. 中山最高峰に到着



7. 林道のところで歩荷を解除する



8. テント設営の説明を行う



9. テント本体を広げ、ポールをセットしていく



10. 本体を組み立てたところ



11. 設営後、今度は撤収作業にかかる



12. 本体をバタバタと叩き、ゴミなどを落とす



13. 実技を終了し、御殿山の街並みを見ながら下る



14. 清荒神の参道まで戻り、この後解散となった

六甲・蓬萊峡でアイゼン・ピッケルワークを行い、その後座頭谷から東六甲縦走路まで歩荷の実技・トレーニングを行った。

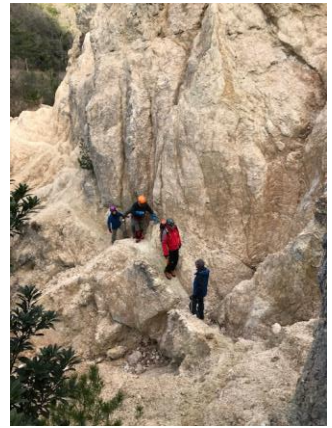
蓬萊峡の花崗岩の風化した岩場でピッケルワーク、アイゼンワークをいろんな地形を利用して行った。午後は座頭谷からナガモッコク尾根を歩荷（男 20kg、女 17kg）し、東六甲縦走路を抜けて宝塚へ戻った。



1. 2班に分かれて講師を先頭にピッケル・アイゼンワークを行う



2. その2



3. その3



4. その4



5. その5



6. 今度はザックに石を積み、歩荷の用意をする



7. ナガモッコク尾根へと入っていく



8. いきなりの急登。この登りは体にこたえる



9. 途中の平坦なところで休む



10. 宝塚市の最高峰・岩原山 573mに到着し歩荷を解除する。ザックに入れていた石を頂上のケルンに積み上げる
この後、東六甲縦走路へと出て宝塚に下山した

比良・堂満岳でアイゼン・ピッケルワーク、ワカン歩行の実技を行う予定が、雪が少なくて十分に行えなかった。

例年、堂満岳でアイゼンワーク、ワカン歩行の実技・トレーニングを行っているが、今年の暖冬状況は過去でも例をみないもので、標高 700mあたりからようやく残雪がチラホラと見える状況で、稜線に上がってもまとまった雪はなかった。残っている僅かの雪を利用して辛うじてワカン歩行の実技を行った。行動開始時から雨が降っていたが、雨具を着て雨にも負けず実技・トレーニングは貫徹した。



1. 比良駅に着き 出発の準備をする



2. 雨の中、堂満岳をめざす



3. 堂満岳登山口で石をザックに詰めて、ボツカの用意をする



4. いよいよ出発



5. 雨とガスのなかのノタノホリに到着



6. 標高 700m 辺りからようやく雪がちらほら見え出す



7. 稜線に上がってもまとまった雪はなく、仕方なく残っている雪を利用してワカン歩行の実技を行った



8. その2

今年の冬は異常だ。こんなに雪がない比良は初めてだ。アイゼン、ワカン歩行は形だけとなったが、無事 3 回にわたった実技・トレーニングは今回で終了となった